



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 藤田 茂樹
 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,930	10.6	487	△30.9	485	△36.0	334	△22.5
27年3月期第2四半期	19,824	21.4	705	401.5	758	—	432	942.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 442百万円 (△15.7%) 27年3月期第2四半期 525百万円 (374.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.78	—
27年3月期第2四半期	8.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	53,390	16,351	30.6	330.98
27年3月期	54,720	16,057	29.3	325.01

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 16,351百万円 27年3月期 16,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では28年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	47,000	7.3	1,400	37.0	1,200	5.4	800	14.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	51,926,194 株	27年3月期	51,926,194 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	2,521,913 株	27年3月期	2,519,101 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	49,405,295 株	27年3月期2Q	49,409,361 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3. 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国経済の減速が懸念され、国内では緩やかな回復基調の中にあります。株式市場が不安定となるなど先行き不透明感が増してきました。

このような状況において、液晶パネル分野はTV用大型パネル向けの受注が減少しましたが、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向けの受注は増加しました。

半導体分野は、顧客の設備投資時期の調整などにより前工程向け装置の受注が減少しましたが、後工程向けボンディング装置の受注は増加しました。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は23,341百万円（前年同期比4.8%増）、売上高は21,930百万円（前年同期比10.6%増）となりました。利益については、成長分野への研究開発投資や成熟分野の棚卸資産評価減を進めたこともあり、営業利益は487百万円（前年同期比30.9%減）となりました。経常利益は485百万円（前年同期比36.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は334百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

②セグメントの業績について

（ファインメカトロニクス部門）

液晶パネル前工程では、大型パネル向けの受注は減少しましたが中小型パネル向けは大幅に増加、全体として受注は増加し、同様に売上も増加しました。

半導体前工程では、半導体マスク関連装置は受注、売上ともに増加しましたが、半導体WET装置は顧客の設備投資時期の調整などにより受注、売上ともに減少しました。

部門全体では受注、売上ともに増加しましたが、研究開発投資や棚卸資産評価減を進めたこと、想定範囲内ではあるものの原材料の輸入価格が増加していることに加え、現地費用の増加により、セグメント利益は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は11,843百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント損失は326百万円（前年同期はセグメント利益343百万円）となりました。

（メカトロニクスシステム部門）

液晶パネル後工程では、受注は減少しましたが、売上は、大型パネル向け、中小型パネル向けともに増加しました。

半導体後工程では、新製品投入効果もあり、受注、売上ともに増加しました。また、太陽電池用製造装置の大型受注がありました。真空応用装置は、受注、売上ともに減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,286百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は756百万円（前年同期比211.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,329百万円減少し53,390百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,513百万円減少し40,704百万円となりました。これは主に、売掛金及び棚卸資産が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し12,685百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により減少したことと、評価設備等の製作により建設仮勘定が増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,623百万円減少し37,039百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し16,351百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ601百万円増加し、4,797百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,030百万円（前年同期は2,909百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の回収額が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は214百万円（前年同期は154百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は229百万円（前年同期は2,744百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払い及び借入金の返済によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成27年4月23日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（連結財務諸表に関する会計基準の適用）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,213	4,811
受取手形及び売掛金	30,567	29,186
電子記録債権	322	466
商品及び製品	1,440	1,393
仕掛品	3,149	2,551
原材料及び貯蔵品	159	167
繰延税金資産	648	606
未収入金	1,221	751
その他	532	807
貸倒引当金	△37	△37
流動資産合計	42,217	40,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,275	28,282
減価償却累計額	△18,708	△18,950
建物及び構築物(純額)	9,567	9,332
機械装置及び運搬具	3,072	3,424
減価償却累計額	△2,297	△2,574
機械装置及び運搬具(純額)	775	849
工具、器具及び備品	597	627
減価償却累計額	△491	△517
工具、器具及び備品(純額)	105	109
土地	119	119
リース資産	369	354
減価償却累計額	△259	△258
リース資産(純額)	110	95
建設仮勘定	525	887
有形固定資産合計	11,203	11,394
無形固定資産		
特許権	362	359
その他	201	188
無形固定資産合計	564	547
投資その他の資産		
投資有価証券	125	125
長期前払費用	6	6
繰延税金資産	217	218
その他	386	395
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	734	743
固定資産合計	12,502	12,685
資産合計	54,720	53,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,618	10,924
短期借入金	5,720	5,660
1年内返済予定の長期借入金	700	—
リース債務	39	37
未払法人税等	205	164
未払費用	2,813	2,961
前受金	542	589
役員賞与引当金	23	17
受注損失引当金	21	15
その他	463	467
流動負債合計	23,146	20,837
固定負債		
長期借入金	5,800	6,500
リース債務	83	69
長期未払金	4	4
退職給付に係る負債	6,134	6,168
役員退職慰労引当金	11	5
修繕引当金	373	342
資産除去債務	34	34
長期預り保証金	3,072	3,075
固定負債合計	15,515	16,201
負債合計	38,662	37,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	2,386	2,573
自己株式	△1,721	△1,722
株主資本合計	16,534	16,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	31
為替換算調整勘定	401	415
退職給付に係る調整累計額	△910	△815
その他の包括利益累計額合計	△476	△368
純資産合計	16,057	16,351
負債純資産合計	54,720	53,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,824	21,930
売上原価	14,989	17,059
売上総利益	4,835	4,871
販売費及び一般管理費	4,129	4,383
営業利益	705	487
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	0	0
為替差益	122	52
デリバティブ評価益	—	33
保険解約返戻金	21	—
その他	20	27
営業外収益合計	171	121
営業外費用		
支払利息	66	73
その他	52	50
営業外費用合計	118	123
経常利益	758	485
特別損失		
事業構造改善費用	93	—
環境対策費	75	—
特別損失合計	168	—
税金等調整前四半期純利益	589	485
法人税、住民税及び事業税	59	108
法人税等調整額	97	41
法人税等合計	157	150
四半期純利益	432	334
親会社株主に帰属する四半期純利益	432	334

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	432	334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△0
為替換算調整勘定	△39	13
退職給付に係る調整額	128	94
その他の包括利益合計	93	107
四半期包括利益	525	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525	442

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	589	485
減価償却費	608	659
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	139	128
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	66	73
為替差損益 (△は益)	△0	3
前受金の増減額 (△は減少)	△10	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,567	1,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△557	38
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,006	△1,410
その他	△1	△10
小計	△2,718	1,253
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△65	△73
法人税等の支払額	△131	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,909	1,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	—
定期預金の払戻による収入	—	3
有形固定資産の取得による支出	△97	△119
有形固定資産の売却による収入	0	0
その他	△54	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,079	△60
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△36	△20
長期借入れによる収入	2,800	700
長期借入金の返済による支出	△1,000	△700
配当金の支払額	△98	△148
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,744	△229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△350	601
現金及び現金同等物の期首残高	3,918	4,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,567	4,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,136	6,897	810	980	19,824
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	87	0	—	92
計	11,141	6,985	810	980	19,917
セグメント利益	343	243	18	224	830

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	830
全社費用(注)	△143
その他	71
四半期連結損益計算書の経常利益	758

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,843	8,286	792	1,008	21,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	87	0	—	97
計	11,852	8,374	792	1,008	22,027
セグメント利益又はセグメント損失	△326	756	2	244	677

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	677
全社費用(注)	△216
その他	24
四半期連結損益計算書の経常利益	485

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。